

町総合防災マップを活用してください！

今春「厚真町総合防災マップ」を刷新しました。
町総合防災マップは、いざという時に備える「手引き」です。



- わかりやすくするため、住宅地図を用いました。
- 公共施設や学校、公園など、災害種別に応じて開設される避難施設を表示しています。
- 警戒レベル情報や避難行動ガイド、備蓄品や非常持ち出し品、地震や火山・津波対策などを図表で解説しています。
- 冊子のほかに、壁などに貼って日ごろから確認できるように、「洪水・土砂災害」と「津波」の2種類のハザードマップも添付しました。
- 町ホームページで公開しているウェブ版は、スマートフォンなどでも閲覧できます。

防災マップの勉強会

6月以降、町は5回にわたり町総合防災マップの勉強会を開きました。防災担当者が地域に出向いて概要を説明し、災害に対する事前の準備や情報収集の方法、避難行動など、町民の皆さんとの意見交換を通じて、連携強化を図っています。

6/1 浜厚真地区

約10人が参加しました。水害時や想定される津波被害などについて理解を深め、避難路や避難経路などについても情報を共有しました。「津波警報」が発令されたら「すぐ避難」することなどを確認しました。

6/22 幌内自治会

17人が参加しました。自治会からは「日高幌内川の危険度合いが分からず、避難のタイミングに不安がある」と質問が投げかけられました。町は「早めに情報を提供し、自主防災組織と連携しながら、早めの行動に移せるよう適切に対応したい」と伝えました。

6/27 朝日自治会

12人が参加しました。自治会からは「樽前山の噴火による農作業への影響が知りたい」と質問が出され、町は「火山灰は、粒子が細かくガラス質なため農作物に強固に付着し、収穫作業や農作物への影響が懸念されます」と説明しました。

6/29 厚真市街地地区

11人が参加しました。出席者からは「6月24日に町内に発令された洪水警報で、影響はあったのか」と質問が出されました。町は「警報は発令されましたが、被害はありませんでした。結果として空振りになるかもしれませんが、早めに防災・避難情報を発信します」と答えました。

7/6 上厚真地区

10人が参加しました。参加者からは「洪水の想定浸水深をもう少し詳しく知りたい」「樽前山噴火時の警戒レベルを教えて欲しい」とリクエストが出され、担当者が補足説明しました。参加者の中には、持参したスマートフォンで町総合防災マップのウェブ版を確認する人もいました。



！ ご注意を！

町総合福祉センターは
避難所にはなりません

町総合福祉センターは今後、公的支援を迅速かつ適切に行う防災関係機関との災害対応活動拠点になるため、避難所にはなりません。

災害に
備えて/
高めよう

防災力



町では各種災害を想定して町民の皆さんに防災意識の啓発を図っています。

「自助」「共助」「公助」の連携強化を！

自然災害による被害を少しでも減らすためには、一人ひとりの行動や地域内での協力が重要です。「自助」「共助」「公助」の連携を深め、地域の防災力を高めていきます。

自助 自分の命は自分で守ること

自宅の耐震化や家具類の転倒防止、災害情報の収集、飲料や食料の備蓄など、災害発生時だけでなく、日ごろの対策も必要です。

また、家族で防災会議を開いて家の中で一番安全な場所や家族内での役割分担、避難場所や避難経路を確認、連絡手段を事前に決めるなど、情報を共有しておくことが大切です。

共助 地域やコミュニティが協力して助け合うこと

災害時は地域住民同士の助け合いが大切です。日ごろから自治会や自主防災組織による避難計画の策定や防災訓練の実施、要配慮者への支援など、地域ぐるみの取り組みは欠かせません。

町内では、平成30年北海道胆振東部地震以降、33自治会のうち8自治会で自主防災組織が設立され、そのうち7自治会が避難計画を策定しました。これらの活動が、地域の防災力を底上げします。自治会には、住民説明会などを通じて自主防災組織の拡充をお願いしています。

公助 役場や消防、警察、自衛隊、北海道などによる公的支援

備蓄品の整備や管理、人命救助、復旧、復興、自助や共助への支援などを行います。各種災害関連情報の速報や指定避難所、指定緊急避難場所の運営など、多岐にわたります。町民の皆さんとの共同・連携が、防災力を高めるカギになります。

推奨される避難行動の確認を！

いざという時にどういった行動をとるのかを確認しておきましょう。

避難の必要性確認

自宅のある場所は、災害時にどのような危険があるのかをハザードマップで確認しておいてください。危険がなければ、避難場所へ行く必要はありません。

避難のタイミング

避難情報と避難行動を確認しておいてください。
高齢者等避難 ▶ 避難に時間がかかる高齢者、障がいのある方等は避難してください。
避難指示 ▶ 全員避難してください。

多様な避難

近年、「多様な避難」が提唱されています。避難先は、指定された避難場所や避難所だけでなく、安全が確認されている親戚・知人宅やホテルなども事前に確認しておいてください。

自己防衛の感染対策

公共施設などに避難する際、自己防衛のために予備を含むマスクや消毒液、体温計などをあらかじめ準備し、避難場所で感染対策を講じてください。

車での避難

車で避難する場合は、危険を避けるため早めに行動してください。危険な状態の中では避難せず、安全確保に万全を期してください。